

99-191

問題文

関節リウマチに関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 滑膜細胞からは、IL-6やTNF- α などの炎症性サイトカインが分泌される。
2. 合併症として、間質性肺炎がある。
3. リウマトイド因子は、IgMのFc部分に対する自己抗体である。
4. 全身の大小の関節が障害されるが、脊椎は障害されない。
5. 手指では、特に遠位指節間関節(DIP)が障害されやすい。

解答

1, 2

解説

選択肢 1,2 は、正しい記述です。

選択肢 3 ですが

リウマトイド因子は、IgG のFc領域に対する自己抗体です。主に IgM に属します。IgM に対する抗体では、ありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

リウマチによる炎症性障害は、全身の関節へ及びます。脊椎に起こった場合は、脊椎炎と呼ばれます。関節リウマチの進行した患者さんの約半数に発生する症状です。脊椎は障害されない、ということはありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

リウマチで、最初におかされるのは手首の関節です。手には、親指を除き3つ関節がありますが指先から、遠位、中手、近位 指節関節と呼ばれます。つまり、障害されやすいのは近位指節関節です。遠位では、ありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,2 です。